

議 事 要 旨

内容	第 7 回福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会
実施日時	2025 年 7 月 10 日（木）9:00-11:30
場所	福知山市総合福祉会館 33・34 号室
参加者	委員 夜久豊基、菊田学美、足立直敬、四方正道、谷垣修身、谷垣均、中村豪文、淵上紫乃、前田竹司、牧野新子 アドバイザー 生田創、渡辺弘、阪田弘一 事務局（福知山市） 山本、森田、井上、塩見、岩木、梅原
使用資料	・第 7 回福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会資料

◆主な検討結果

（１） 建設候補地について

- ・ 建設候補地を 5 つのゾーンに分けて検討を進めた結果、『駅北ゾーン』、『御霊公園・厚生会館ゾーン』の 2 つに絞り込んだ。
- ・ 第 8 回の再検討委員会にて、『駅北ゾーン』、『御霊公園・厚生会館ゾーン』からさらに絞り込みを行う。

（２） 固定席と可動席について

- ・ 固定席を基本とし、座席数の規模は 1000 席程度を確保する。
- ・ 一部の座席は可動席等として座席数を可変することなども視野に入れて整備することとする。

（３） 今後のスケジュールについて

- ・ 今後の再検討委員会にて、当初の基本計画にて定められた新文化ホールの機能を確認し、再検討する。

議論の要旨

1. 開会

- ・（委員長）7月2日にホールの視察を実施した。本日の議題は、建設候補地の絞り込み、固定席と可動席の決定、可能であれば席数の議論も行う。

2. 協議事項

（1）建設候補地について

ー建設候補地の説明ー

- ・（委員 F）周辺の環境という項目に注目し、『①市民交流プラザ、②駅北口公園、③福知山駅前、④駅前市有地、⑤駅南私有地』と『⑥福知山市役所前敷地、⑦伯耆丸公園、⑧厚生会館用地、⑨御霊公園』の2つのゾーンに分けて検討を進めるのはどうか。
- ・（委員長）『駅北ゾーン、駅前ゾーン、駅南ゾーン』と『伯耆丸・市役所ゾーン、御霊公園・厚生会館ゾーン』の2つに分けて、それぞれのゾーン内の候補地を絞り込むという意見が出た。
- ・（委員 E）⑥について、市役所との一体的な整備となる場合、全体のコンセプト・必要機能等の追加検討が必要と記載されているが、検討の余地はあるのか。
- ・（事務局）福知山市公共施設マネジメント個別施設計画において、市役所は建て替えではなく、長寿命化改修により耐用年数を伸ばすこととしている。具体的な方針は来年度以降に定める予定である。
- ・（委員 E）個別施設計画では、建て替える案は一切ないという認識でよいか。
- ・（事務局）現状の計画の中では長寿命化としているが、来年度以降の検討では建て替えを含めた検討される可能性もある。
- ・（委員 H）厚生会館は高さ制限があると思うが、その点を認識しているのか。
- ・（事務局）認識している。
- ・（委員 I）ハピネスふくちやまの建て替え等の検討について教えてほしい。
- ・（事務局）来年度以降に行われる市役所本庁舎に関する検討では、本庁舎周辺のハピネスふくちやまや伯耆丸公園も検討の対象と考えられる。
- ・（委員長）候補地を絞り込む方法について意見はあるか。
- ・（委員 E）5つのゾーンを1か所に絞り込むことは難しいので、2～3つのゾーンに絞り込んでどうか。
- ・（委員長）今回の再検討委員会では、できる限りゾーンを絞り込み、その中でも候補地をある程度絞り込みたいと考えている。
- ・（委員 G）今後、福知山市がどのような街でありたいかが重要だと考える。福知山市が福知山市らしくあるためにふさわしい場所を選びたい。
- ・（委員長）委員 F の意見に賛同の方は挙手をお願いしたい。
- ・【賛同多数】
- ・（委員長）それでは、『駅北ゾーン、駅前ゾーン、駅南ゾーン』から1か所と『伯耆丸・市役所ゾーン、御霊公園・厚生会館ゾーン』から1か所、絞り込みを進めていきたい。
- ・（委員 J）『駅北ゾーン、駅前ゾーン、駅南ゾーン』に含まれる候補地②～⑤に建設することは、ハードルが高いと感じる。
- ・（委員 E）『④駅前市有地』は定期借地、『⑤駅南私有地』は民間事業者が活用することが決まっているため難

しいと考える。駅北ゾーンは絞り込めていない。

- ・（委員長）委員 J、委員 E の発言を踏まえ、『駅北ゾーン』を中心に検討する方向性について賛同の方は挙手をお願いしたい。

・ **【全員賛同】**

- ・（委員長）全員一致で、『④駅前市有地』が属する『駅前ゾーン』と『⑤駅南私有地』が属する『駅南ゾーン』を候補地から除外する。また、『駅北ゾーン』について、『②駅北口公園』『③福知山駅前』を除くという意見があったが、それについて意見はあるか。

- ・（委員 E）ホールの詳細な仕様が決まるまで、『駅北ゾーン』に含まれる候補地の絞り込みは難しいと考える。
- ・（委員 J）敷地面積は不明だが、『①市民交流プラザ』がよいと考える。
- ・（委員 D）『駅北ゾーン』の中で一つに絞り込めてはいないが、『③福知山駅前』は整備費用の面を考慮すると難しいと考える。

- ・（委員 C）規模によって最適な候補地が変わると考える。詳細が決定した後に検討したい。
- ・（委員 H）『②駅北口公園』はさまざまなイベントが行われており、ホールが建つと眺望が悪くなるため外していただきたい。『③福知山駅前』への建設は論外である。

- ・（委員長）この段階で絞り込むのは時期尚早という意見があるものの、『①市民交流プラザ』を支持する意見が多かった。『②駅北口公園』『③福知山駅前』は除外する方向で問題ないか。

- ・（委員 C）『①市民交流プラザ』で進めることに問題がないかどうかはこの段階で分からない。
- ・（委員 J）『①市民交流プラザ』の駐車場部分の敷地面積は分かるか。
- ・（事務局）『①市民交流プラザ』は約 2600 平米、『②駅北口公園』の公園部分は約 3000 平米となる。
- ・（委員 E）サウンディング型市場調査にて PFI 方式導入の可能性があることも分かっているので、民間企業が事業を提案しやすいように具体的な土地までは絞り込まず、ゾーンを絞る程度に留めるほうがよいと考える。
- ・（委員長）建設費用も踏まえて、市民目線で検討するべきだと考える。意見の多かった『駅北ゾーン』だが、そこには①～③の候補地が含まれる。これを今回でさらに絞り込むことに賛同する方は挙手をお願いしたい。

・ **【賛同少数】**

- ・（委員長）では、次回の委員会で『駅北ゾーン』の候補地を絞り込むことに賛同する方は挙手をお願いしたい。

・ **【賛同多数】**

- ・（委員長）次回でさらに絞り込むために、検討材料となる資料の作成を事務局をお願いしたい。続いて、『伯耆丸・市役所ゾーン』と『御霊公園・厚生会館ゾーン』の検討を進める。

- ・（委員 J）『⑥福知山市役所前敷地』や『⑧厚生会館用地』は追加の検討や高さ制限があるため、ハードルが高い。また、お城周辺の景観を考慮すると『⑦伯耆丸公園』も避けたい。消去法で『⑨御霊公園』がいいと考える。

- ・（委員 D）都市公園の一部をホールの用地として利用することは可能か。その場合は、利用した面積分の都市公園を別箇所に造成する必要があるということか。

- ・（事務局）検討は可能である。認識のとおり、代替地の検討が必要である。
- ・（委員 H）『⑥福知山市役所前敷地』は平面、立体のどちらの駐車場を敷地として考えているのか。また『⑥福知山市役所前敷地』には何台駐車できるのか。

- ・（事務局）候補地はすべて市民懇談会や再検討委員会などで皆さんから提案された意見をそのまま採用したものであり、⑥については「福知山市役所前敷地」という文言で提案された土地である。そのため、庁舎前にある平面駐車場を指していると推察して資料を作成している。『⑥福知山市役所前駐車場』の面積は 2500 平米である。

『⑥福知山市役所前敷地』の駐車台数については手元に情報がいないため、改めて確認する。

- ・（委員 E）『⑥福知山市役所前敷地』を提案したのはおそらく自分であり、市役所とハピネスふくちやま、駐車場部分などを含む、市役所のすべての敷地を対象に提案したつもりであった。
- ・（委員 C）『伯耆丸・市役所ゾーン』と『御霊公園・厚生会館ゾーン』の中で、1 つに絞った方がよいと考える。サウディング型市場調査で頂戴した「福知山市は文化と歴史がある街なので、それを活かしては」という意見を踏まえると、『御霊公園・厚生会館ゾーン』で賑わいを創出した方がよい。
- ・（委員 G）市内の回遊性については都市計画マスタープランでも言及されている。その上で、『伯耆丸・市役所ゾーン』と『御霊公園・厚生会館ゾーン』の 2 つに分けたまま検討すべきと考える。文化・歴史を活かし、回遊性を高めたい。
- ・（委員 I）このゾーンは選択が難しい。御霊公園への建設は市民の抵抗感が強いと感じる。また厚生会館は高さ制限があるため、可能性は低いと考える。
- ・（委員長）『伯耆丸・市役所ゾーン』と『御霊公園・厚生会館ゾーン』のどちらを残すか議論をしたい。
- ・（委員 J）『⑧厚生会館用地』の 3000 平米は敷地面積か。
- ・（事務局）認識の通りである。
- ・（委員長）『伯耆丸・市役所ゾーン』、『御霊公園・厚生会館ゾーン』のどちらに賛同するか、挙手をお願いしたい。
- ・【御霊公園・厚生会館ゾーン賛同多数】
- ・（委員長）『御霊公園・厚生会館ゾーン』で検討を進めることとする。ここで決定したゾーンについて、回遊性等の観点からアドバイスをいただきたい。
- ・（アドバイザー-K）ハピネスふくちやまの利用率はどの程度か。
- ・（事務局）利用率は 29.4%である。
- ・（アドバイザー-K）ハピネスふくちやまと新しいホールを連携させて利用する方法もあると感じたが、市役所の建て替えの話が出ると、ホールの建設が遅延し、別の問題が発生する可能性も考えられる。
- ・（アドバイザー-L）①～⑤の候補地を選択するのは街のコア的な部分を整備する発想であり、⑥～⑨の候補地を選択するのはエリア全体に回遊性を波及させるアプローチだと理解した。①～⑤についての委員の皆さんの意見は妥当だと感じる。⑥～⑨の候補地については、都市公園を潰してまで整備する必要があるのか疑問である。⑧厚生会館用地については現状を踏まえても、それほど波及効果がない。一方、『市役所・伯耆丸ゾーン』はビジョンとして確立性が高いと感じる。
- ・（アドバイザー-M）中長期的な財政計画も含め、実際に利用されるイメージがどれだけ具体化できるかが重要である。新たな文化ホールは、ここにいる誰でもなく、子供たちが利用するものだという視点で検討する必要がある。
- ・（委員長）各ゾーンの建築に関する許認可等、本日の資料以上に判断が可能となる材料を事務局に用意していただきたい。また、今後の検討においては、限られた費用の中でよりよいものを作る視点を持つ必要がある。次回の再検討委員会では具体的な候補地を決定していきたい。
- ・（委員 H）当初の基本計画で建設予定地とされていた厚生会館用地では 600 席程度しか確保できないため、抗議が起こった。それを踏まえると、『⑧厚生会館用地』は実現不可能である。また、『⑨御霊公園』でも多数イベントがある。イベント会場として活用されている場所を潰してホールを建設することも現実的ではない。
- ・（事務局）周辺施設との関連や都市公園に建設する場合の代替地の用意など、様々な調整が必要と想定している。本日決まったエリアに関連する方々にはお声がけをする必要があると考える。
- ・（委員 J）『御霊公園・厚生会館ゾーン』を検討するにあたり、『⑨御霊公園』に建設した場合に備えて、『⑧厚生

会館用地』を代替公園にできるか等も検討する必要があると考える。

（２） 固定席と可動席について

―再検討内容の説明―

―ワゴン席の設置・収納の動画を視聴―

- ・ （委員長）固定席のみ、固定席と可動席、可動席のみ、この３パターンのどれで整理するのかを検討したい。
- ・ （委員 E）新文化ホールの中につくるホールは１つだけの想定で検討しているという認識でよい。
- ・ （事務局）間違いない。また、当初の基本計画で想定しているリハーサル室を整備すれば平土間が確保できるため、他の施設で利用されていた催しがカバーできると考える。
- ・ （委員 E）視察に行った 400 席前後の移動観覧席は座り心地が良かった。稼働させるのが大変という印象だったが、7 分程度で全収納されるため、一人で作業が可能であるとわかった。リハーサル室が整備されるのであれば、大ホールは全席固定でもよいと考える。
- ・ （委員 D）固定席で数を担保したホールを作り、最前列周辺の座席数は増減できるつくりがよいと考える。
- ・ （委員 C）移動観覧席の揺れを考慮すると、しっかりとした固定席で整備した方がよいと考える。
- ・ （委員 B）移動観覧席は予想以上に歩行に伴う座席の揺れを感じた。舞台芸術を鑑賞する環境を整備するならば、基本的には固定席とし、前方は移動可能な形がよいと考える。
- ・ （委員 F）可動席は空間を多目的に利用が出来るというメリットがあるが、維持管理面で管理者に負担がかかる。また、移動観覧席の座り心地は固定席にやや劣る。長時間座ることを考えると、固定席の方が望ましいと考える。
- ・ （委員 G）可動席に予算をかけるより、舞台や照明に費用をかけた方がよいと考える。
- ・ （委員 H）移動観覧席で音や揺れを感じたことを踏まえると、固定席の方がよいと考える。
- ・ （委員 J）自分は移動観覧席を素晴らしいと感じた。可動席も固定席も座席の下は空洞であるため、どちらにせよ歩くと音が鳴る。新文化ホール内にはホールを一つだけ整備することを想定しているため、その一つを多様な利用ができるようにした方がよいと考える。
- ・ （委員 I）固定席が望ましいと考える。平土間利用ができる可動席の方がよいという考え方もあるが、将来の子ども達のことを考えると、固定席で本物の芸術を育む方がよいという考え方もある。
- ・ （委員長）固定席のみか、可動席も含めて整備するか、意見を聞きたい。
- ・ （委員 E）前席の一部を可動席にする場合も、可動席も含めて整備する選択肢に入るのか。
- ・ （事務局）前席の一部を可動席にする場合は、固定席として考えるものとする。
- ・ （委員長）固定席を基本として整備する方向性に賛同する方は挙手をお願いしたい。
- ・ **【賛同多数】**
- ・ （委員長）多数決により、固定席を基本として整備することとする。ここから、席数の絞り込みを行っていきたい。これまででは 800 席～1200 席と幅を持たせて議論を行ってきたが、800 席～1000 席、1000 席～1200 席のどちらで整備するかを検討する。
- ・ （委員 I）固定席をベースに整備するのであれば、800 席～1000 席がよい。
- ・ （委員 J）基本計画見直しの署名活動をする中で、有名なアーティストが見たいという声を多く聞いた。芸能事務所等の関係者の声には 1500 席では多く、1000 席以下だと少ないと感じるという意見があったため、1000 席は確保したい。

- ・（委員 H）1500 席もの数を確保するのは難しいが、かといって 800 席は論外である。1000 席～1200 席程度のホールを整備してほしい。
- ・（委員 G）大都会と同じ規模のホールを作っても意味がないため、800 席～1000 席がよい。
- ・（委員 F）800 席～1000 席程度がよい。
- ・（委員 B）1000 席以上が望ましい。
- ・（委員 C）実際にホールを運営している側の意見を聞くことも必要である。近隣のホールを見ても 1000 人以上の観客が入ることはほとんどない。ホールを借りて催しを行う側の目線に立って考えると 800 席～1000 席程度が望ましい。
- ・（委員 D）800 席よりは 1000 席が望ましいと感じるが、決めかねている。
- ・（委員 E）1000 席は必ず確保したいと考えるため、1000 席～1200 席が望ましい。
- ・（委員 A）サウンディング型市場調査の意見にあった「席の数ではなく、事業で勝負するべきだ」という発言が印象に残っている。800 席～1000 席が望ましく、1000 席は必ず確保するように整備する方向性がよい。
- ・（委員長）800 席～1000 席、1000 席～1200 席のどちらに賛同するか、挙手をお願いしたい。
- ・【800 席～1000 席賛同多数】
- ・（委員長）座席規模は 800 席～1000 席に決定する。
- ・（アドバイザー M）可動席は客席転換や維持管理にかなり手間と費用がかかるが、市民のニーズに応じてあえて可動席にしている会館もある。利用者のニーズを踏まえながら今後検討していくべきである。
- ・（アドバイザー L）これからの議論は、あくまで市民はただの観客なのか、はたまた市民が出演者にも観客にもなりえるのかをより具体的にイメージする必要がある。
- ・（アドバイザー K）固定席で整備し、前席の一部を可動にするパターンは多い。ある程度の舞台の大きさも考慮し、席数を最終的にみていく必要がある。舞台が広ければ、運営側のアイデア次第で多様な利用ができる。リハーサル室があればできることも広がるので、必ず整備してほしい。
- ・（事務局）厚生会館の舞台の奥行きが 8m しかないが、新文化ホールの奥行きはその 2 倍程度が必要ではないかと考えている。今の議論を踏まえると、まずは 1000 席程度を確保し、一部の座席を取り外すなどして 800 席程度にもなるという整備の方向性で理解をした。

（３）今後のスケジュール案について

—今後のスケジュール案についての説明—

- ・（委員 D）機能面は議論を深めずに、基本計画に沿って確認の方がよいと感じるが、進め方はどのように想定しているのか。
- ・（事務局）基本計画の内容を改めてこの場で確認する時間を設け、必要に応じて修正する予定である。

以上